

2020年8月29日～30日に予定されていた

**「第13回木曾の手仕事市2020」はコロナ禍のため中止となりましたが、
実行委員会では準備の段階で、**

**「もし開催するとしたらどのような対策が必要か」について検討し、
関係諸機関のアドバイスも頂きつつ、対策計画を立案していました。**

ここにその内容を発表しますので、

地域住民の皆さまには、

今後の「ウィズコロナ」時代に地域イベントを開催する際の

参考にして頂ければと思います。

1. ねらい

「今後の『ウィズコロナ』時代に地域イベントを実施するにはどのような対策が必要か」を探り、一つのモデルとして地域社会へ提示する。従って、仮に開催中止となっても、予定していた対策案を発表し今後の参考として地域住民(地域イベント主催者等)に役立ててもらおう。

【参考】長野県発出「8月1日以降の長野県としての対応」より

- ・ 5,000人以内かつ収容率50%以内(屋内の場合)を開催の基準を継続します。
- ・ 接触確認アプリのインストールを促すなど、感染拡大防止策を講じてください。
- ・ 全国的規模又は大規模なイベントを実施する場合、県に事前相談を行ってください。

2. 全般

■状況によっては開催を中止する。

■長野県外からの来場はご遠慮いただく(ネット等にて事前広報)。

■出展者数を前回の半分以下に抑え(県内在住者限定)、開催エリアを縮小。

■室内区画での出展は無し。室外区画でもブースが近接しないよう距離をとって配置。

■密状態を招く「出展者交流会」「メンパ弁当コンテスト」「ミニライブ」は実施しない。

3. 事前広報等

■メディアでの広告展開を長野県内の雑誌・新聞に限定する。

※動員数見込＝約 5,000 人(うち県外からの参加者約 0 割←県外在住者の来場を自粛してもらうので)。(前回＝約 13,000 人。うち県外からの参加者約 3 割)。

■事前広報事項①「例年より来場者駐車場が少ない」「シャトルバスの運行無し」「合庁 P から遠い」

■事前広報事項②「コロナ関所での取り組みについて(後述)」「出展者は県内在住者限定」

■事前広報事項③「会場エリア内ではマスクの着用を必須とさせていただきます」

■「次の方々をご来場をご遠慮ください」と事前広報。

・長野県外在住の方

・発熱など体調不良の方

・来場前の 14 日以内に、感染者との接触がある方

・来場前の 14 日以内に、感染拡大地域や国への訪問歴および滞在歴がある方

4. 出展者・スタッフ・来場者 共通事項

■**マスク着用を必須とする**(可能ならフェイスシールドも)。ただし周囲に人がいない時間は外すなど、熱中症に充分気をつける。

■下記のタイミングで、それぞれ検温を行なう。

【出展者】

- ・前日搬入者→(前日)受付時、(1 日目)各ブースへスタッフ巡回、(2 日目)各ブースへスタッフ巡回
- ・当日搬入者→(1 日目)受付時、(2 日目)各ブースへスタッフが巡回

【スタッフ】作業開始前に、各案内所にて。

【来場者】来場時に「コロナ関所(後述)」にて。

■検温の結果による対応

①**37.5 度以上の方の出展・スタッフ参加・入場は認めない(居住地を管轄する保健所への相談を奨める)。**

該当者(出展者・来場者)へは「木曾グッズ詰め合わせセット」をお渡しする。

②**「37.5 度には達していないが 37 度台」の方へは、参加自粛をお願いする。**該当者(出展者・来場者)

へは「木曾グッズ詰め合わせセット」をお渡しする。

5. 出展者関係

■出展申込時にコロナ対応計画の提出を義務付け。

■出展者共通ガイドラインとして、下記事項の実施を義務付け。

- ・**各出展区画内への入場人数を管理**する(他者との距離が 1~2m 確保できるような人数のみ)
- ・各出展区画内で、**お客様の動線が一方方向になるよう作品配置を工夫**する(往復による接触を防ぐ)
- ・カード決済や電子マネーでの精算を推奨(現金のやり取りによる接触を防ぐ)
- ・(食の出展者)使い捨て容器を使用すること。
- ・(食の出展者)ゴミ箱を設置し、こまめなゴミ処理を行なうこと。

■その他、下記事項を出展案内書類に記載する。

- ・お客様用消毒液の設置を必須とする(出展者自前にて用意)。
- ・(消毒液等の補充等のため)町内の薬局・ドラッグストア・ホームセンターをマップ標示。

■出展者受付では、間隔を空けて並ぶよう注意喚起の標示を掲示し、口頭でも呼びかける。

■出展案内書類送付時に、**三密回避など、エリア内での注意事項を大きく印刷したものを同封し、当日各ブースに掲示してもらう**

6. スタッフ関係

■発熱だけでなく、倦怠感や咳など、普段と異なる体調の者は参加を控える。

■各案内所に携帯用の消毒液を配置。各スタッフは携行し、必要に応じて使用する。

7. 来場者・当日会場関係

【案内所】

■**会話を控えるため、各案内所に大判のマップを掲示する。**

■**三密回避など、エリア内での注意事項を掲示する。**

■各案内所に消毒液(役場より提供)&非接触型体温計(八沢・上の段・漁協前へ各1)を設置、来場者へ検温と手指消毒を呼びかける。消毒液を配置する場合、正しい手指消毒の方法を示したチラシも掲示。

■呼掛けにあたり案内所スタッフはハンディマイクを使用(飛沫防止)

■各案内所へアクリル板パーテーションを設置(2×3ヶ所)(役場本庁にあるものを借用)。

■各案内所にAEDを配置する(計3基。役場各支所等より借用)。

【コロナ関所】※木曾福島の史跡「福島関所」にちなんで

■会場エリア入口(3ヶ所)に「コロナ関所」を設けてスタッフを配置。下記の対応を行なう。

【対応①】: 来場者へ検温を呼掛け(非接触型体温計×2)、37.5度以上の方へは入場自粛をお願いする。該当者には「木曾グッズ詰め合わせセット」をお渡しする。

※念のため**通常の接触型体温計も配置(役場より借用)。**

【対応②】: 消毒液を設置し、手指消毒をお願いする。**マスクの着用(必須)をお願いする。**

【対応③】: 用紙へ「住所」「氏名」「連絡先」「入場時刻」の記入をお願いする。

※**記入後は手指消毒をしてもらう。**

※**「当イベント来場者に感染者が確認されたときは、接触者調査のため保健所へ情報提供する場合があります」と用紙に明記。口頭でも都度説明。**

※個人情報のため取扱いに注意し、9月末まで事務局で保管したのち処分。

【対応④】: 上記①②③を済ませた方へリストバンドを装着して頂くようお願いする。リストバンド装着者は「コロナ関所でチェックを受けた方」ということになる。

※**リストバンドは手渡しせず、来場者自身が手に取るようにする。**

※**大きなシートから切り離す方式のため、事前にスタッフが切り離しておく(作業時は手袋着用)。**

【対応⑤】: リストバンドとともに「飛沫防止うちわ」をお渡しする。

※**うちわは手渡しせず、来場者自身が手に取るようにする。**

【対応⑥】: コロナ関所現地に看板および付近に補助看板を設置して存在をアピール。また、「関所門」を製作して設置し、楽しく協力頂けるよう工夫する。

【設置場所】: (八沢エリア入口)安田理容前、(上の段エリア入口)集会所前、(漁協付近入口)漁協前

【その他】:

- ・呼びかけにあたり、コロナ関所スタッフはハンディマイクを使用する(飛沫防止)。
- ・場所により窓口を複数設け、混雑しないよう工夫する。
- ・公道や公私有地でのイベントのため、上記対応について来場者への強制はできないがなるべく協力をお願いする。

【交通関係】

■三密状態を回避するため、シャトルバス(各駐車場～会場エリア)の運行を取りやめる。

※最も遠い合庁・農協 P へは、「シャトルバス無し」「会場まで徒歩 20 分」「タクシー会社の連絡先」を標示した看板を設置。

【休憩場所・食の広場】

■昼食時、食ブース周辺にスタッフを配置し、間隔(最低 1m)を空けて並ぶよう呼びかける。

■休憩場所で密状態が発生しないよう、イス(または P 箱)を、エリア内に間隔を空けて配置する。机は設置しない。

■**空いたイス(または P 箱)を見かけたら、巡回スタッフが携行する消毒液とタオルで消毒する。**

■**食の広場に手洗い場を設置(水タンク+ハンドソープ+ペーパータオル+燃えるゴミ箱+消毒液+正しい手指消毒の方法を示したチラシ掲示)。巡回スタッフが減り具合を確認して補充、ゴミの回収を行なう。作業時は使い捨て手袋を着用する(各案内所備品として配備)。**

【救護休憩所】

■熱中症やケガ等発生した場合の救護休憩所を設定、あらかじめ借用しておき、必要に応じ使用する。

■**【設置場所】**: (八沢)旧武居旅館室内、(上の段)集会所室内、(大通寺前)大通寺室内、(漁協前)おかりや室内

■別紙「緊急時の連絡体制および対応」を各救護休憩所と案内所に掲示&配置する。

■**【具合の悪い方の対応時には、感染予防対策を行なう】**(対応者はマスク・フェイスシールド・使い捨て手袋を着用。対応前後に手指消毒)

■スタッフが自家用車等で患者を医療機関へお連れする場合→「運転手と患者のみ乗車」「マスク着用」「窓を開けて(換気)走行」「なるべく会話を避ける」ことに留意する。

■本部(上の段集会所)に、救急医療担当者 1 名を配置する(熱中症対応・AED 対応ほか)。人員は、訪問看護ステーションまたは木曾町所属の保健士から派遣してもらう。

【トイレ】

■来場者の使うトイレを定期的に清掃・消毒する。

■**【各案内所ごとにトイレ当番表を作成する。作業時はマスクと使い捨て手袋を着用(備品として配備)。**

※トイレ一覧

- ・(八沢) 駅坂公衆トイレ
- ・(上の段中山道) まつり会館トイレ、上の段集会所トイレ
- ・(大通寺前) 大通寺トイレ
- ・(その他) 市民タイムス横公衆トイレ、大手橋横公衆トイレ

【その他】

■各案内所に、厚労省提供の新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」のチラシを配置、随時インストールを促す。

■スタッフ数名を「コロナ退散呼び掛け隊」とし、エリア内を見回って密にならないよう(1~2m)呼びかける。その他のスタッフも随時呼びかける。

■人権に配慮し、マップリーフレット等で感染者へのハラスメント防止を呼びかける

■熱中症を招く恐れのあるマスクに代わる飛沫防止策として、オリジナルのうちわを作成し、コロナ関連所と各案内所で配布する。オモテ面に笑顔のイラスト、裏面に使用法や感染防止の呼びかけを記載。

